

半年の振り返り

1月19日に前期の授業が終了し、20日にHSK4級を受験してから日本に1時帰国しています。中国の春節ではほぼすべての人が郷里に帰るため、個人経営の店はほぼすべて閉店してしまいます。私たちが住んでいる山西大学商務学院でも1月10日ごろにはほぼすべての学生が帰省し、食堂やスーパーがすべて閉店していました。そのため、近くの市場から野菜を買ってきて料理する生徒もいれば、**外卖**（ワイマイ）というデリバリーサービスを利用する生徒もいました。この状態が2月まで続くそうなので、後期からくる方は3月1日ごろに来ることをお勧めします。

中国に来てから約半年が経過しましたが、この留学で成し遂げた成果について簡単にまとめておきたいと思います。

1、中国語レベルの向上

中国に来てすぐの頃は、質問をすることが出来ても相手が何を言っているのか分からないことが多かったですが、現在はある程度相手の話している内容が分かるようになってきました。日本で基礎を固めてから中国に来るのがベストですが、言語の習得が必要な状況に自分を追い込むことも学習の1つではないかと感じています。今回の留学を通して、HSK5級の習得を目指そうと思います

2、埼玉県のアピール

授業の中で「自分の住んでいる地域」についてプレゼンする機会や、現地で知り合った中国人の方に「埼玉県」について説明する機会を多くしようと意識しています。

以前、授業の中で「日本の交通」について説明する機会があり、電車の乗り入れ本数が第2位である大宮駅について、写真を用いて説明しました。大部分の人が埼玉県の場所すら知らない状態でしたが、繰り返し説明しているうちに覚えてくれるようになり、将来行ってみたいという声も聞きました。

3、交流する人の幅

今回の留学で大きく変わったことの1つは、交流する人の幅が広がったことです。飲食店の経営者や友達の友達、Eコマースの先生など多種多様な人と知り合う機会が多くありました。今期知り合えた人と交流する中で中国人との付き合い方を学び、お互いに誤解のないような付き合いができることを目指そうと考えています。



一時帰国前の晩餐。
学校内の食堂が閉まっていたので、
門の近くの食堂で頂きました。



日本の料理よりも味が濃かったですが、中国独特のスパイスを用いているので非常においしかったです。



同じ寮に住んでいる留学生。
左からウズベキスタン、ロシア、チェコの出身です。
後ろの壁の絵は、ルームメイトの滝田君作です。